江東区 青少年委員だより

No.51
江東区青少年委員会
広報調査部
江東区教育委員会
青少年センター
江東区亀戸7-41-16
TEL.3681-7334
FAX.3681-8732

平成二十年度の青少年委員会始まる

進藤会長のもと、44名の委員で各地区、各部の活動が始まり、会長・教育長・各部部長・地区長から抱負を伺いました。

就任のごあいさつ

江東区青少年委員会会長　進藤　孝

私達青少年委員は、地域のコーディネイター役として常に青少年の健全育成に努めており、家庭と学校が地域諸団体と連携をとるためのパイプ役という大切な活動の役割も担っている。

現代の青少年を取り巻く環境の変化のスピードは昔とは比ぶべくもない。

少子高齢化という社会構造の変化の下で、不登校・いじめ・児童生徒の問題行動・家庭における教育力の低下・人間関係の希薄化など、さまざまな困難が露呈されてきている。

このような事態のひとつの要因ではないかと巷で盛んに問題視されているのがインターネットの発達と普及に伴い、負の副産物として成長してしまった有害サイトである。江東区青少年委員会では、本来の目的のために子どもたちが安心してネットを利用できる環境整備が不可欠であると考え、数年にわたりインターネット利用調査を重ねてきた。

ヤフーはこのような状況に先駆けて〈あんしんねっと〉と名づけたシステムを積極的に推進してきている。つまり、インターネットが子どもたちにとって有意義な情報を大量に提供するばかりか、学習やコミュニケーション手段としても欠かすことのできないツールになっている。しかし子どもたち自らの意思に関わり無く不快であったり、有害と思われるサイトに迷い込む可能性がある、その情報をふるいにかけて提供しよう、というフィルタリングサービスである。

ここに来て、ようやくヤフーを筆頭に、楽天、マイクロソフト、ディーエヌエー、ネットスターのネット関連会社大手五社が共同で危険性を教える教材の作成や保護者むけ勉強会の開催に乗り出すことになったと新聞紙上で読んだ。出会い系サイトや学校裏サイトが犯罪やいじめの温床になっている実態が充分周知されてないという状況に各社が危機感を持ったようである。しかし、ネット上の有害サイトは業者が削除できるが、他人を中傷するサイトなどの安易な削除が法的に問題が無いか含め、実態調査を通して判断基準を整備することがこれから求められることである。

青少年委員会は、これからも各地区の代表である青少年委員の皆様とともに各部会の活動を通して青少年の健全育成に努力していきたい。

青少年委員に望む

教育長　高橋　三喜男

日頃、進藤会長をはじめ、青少年委員の皆様には、青少年の健全育成に献身的にご努力されておられることに、深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

次代を担う青少年が明るく正しく健やかに育つことは、区民すべての願いであります。

しかしながら、極めて不幸で痛ましい事件が相次ぐなど、今日の青少年を取り巻く環境は、必ずしも好ましい状況にあるとは申せません。

背景には、家庭における教育力の低下や地域における連帯感の希薄化等青少年を取り巻く環境の変化が指摘されております。

青少年の健全育成を進めるためには、家庭、学校、地域社会がお互いに協力し合い、地域ぐるみで取り組むことがなにより大切です。

こうした中で、地域で様々な活動を展開されていらっしゃる、青少年委員の役割は極めて大きいものがあり、私どもにとっても大変心強いものであります。

今後とも、青少年の健全育成にご尽力、ご協力いただきますことを、心からお願い申し上げます。

各部紹介

「研修部長活動目標」

研修部長　大野　浩一

二十・二十一年度、研修部長として活動して行く事になり、身の引き締まる思いでいっぱいです。まず、早速の仕事ですが、新任委員研修会を開催するにあたり、日程・場所・講師等を決定し、実行しなければなりません。本年度の部員は、川崎・秋山委員と新任委員五名、私を含め八名で構成されており、部会を開く前にある程度の事は、早めに決めなければならないので、大変忙しい思いをしております。その他の活動としては、秋頃の定例会で、携帯・インターネット状況について、NTTドコモの方をお招きし、研修会を行なう予定です。研修旅行は、二月頃、一年目「安・近・短」で考えており新任委員も参加しやすい旅行を計画致します。都連合や城東ブロックの研修会にも参加協力し、積極的な活動をして参ります。

「新年度の抱負」

指導者養成部長　小原　良子

今期の指導者養成部長を仰せつかりまして、身の引き締まる思いでおります。未熟者ではありますが、皆様方のお力をお借りして精一杯努めさせていただく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度の指導者養成部は、二つの事業を考えています。

第一に、「江東区内都立高校紹介」昨年初めて企画し、夏の暑さの中にもかかわらず、大変多くの中・小学生、保護者に参加していただきました。実際に通っている高校生に各校の特色ある学校紹介をしてもらった事もあり、（とても良かった）、（毎年実施してほしい）と大好評でした。その声に応えようと、今年度も企画しております。

第二に、「レク活動指導者講習会」コミュニケーション不足と言われている中で、人と人とのかかわりを大切にした講習会を企画したいと思っております。

この二年間、部員の皆様と力をあわせて楽しい活動を心掛けてまいります。

「新年度の抱負」

少年団体育成部長　鬼塚　克己

八丈島・蔵王と続いた自然体験事業は、参加者の減少から今年度は見送られた。参加者の減少については、学校の二学期制の影響か、内容が子供たちに魅力を感じさせないのか解明する必要があるが、今の中学生は夏休み期間中大変忙しいと聞く。昔に比べ夏休み前半は、補習授業。八月後半から後期授業の開始と確かに休みそのものが減っており、これまで通りの事業を行うには、難しい環境であると認識する。では本当に中学生のための自然体験事業が今後も無くてよいのかとなると早急な結論は、出しづらい。中学生と胸襟を開き意見・考えを真摯に受け止めながら少年団体育成部として方向性を見出して行きたい。

又、ジュニアリーダーの育成については、初級・中級に加え上級コースが新設された事もあり、これまで通り江少連との連携を取りながら、暖かく見守りたい。

「新年度の抱負」

青年団体育成部長　山田　哲郎

青年団体育成部の主な活動は、①成人式への協力　②生涯学習施設の見学　③青少年諸団体との交流・協力等があげられますが、なかでも十六年度より活動内容に加わりました生涯学習施設の見学の充実を計りたいと思います。江東区内に限らず、近隣の施設も含みます。その為には部員はもとより、青少年委員の皆様からの意見・要望を寄せていただき、実施していきたいと思います。

部員一同皆様の御協力をいただきながら活動していきます。

最後に今迄に見学しました生涯学習施設等を列記します。

十六年度　日本科学未来館
　　夢の島熱帯植物館
十七年度　深川江戸資料館
　　清澄庭園、本所防災館
十八年度　キッザニア東京
　　夢の島
　　（子供自然科学発表会）
十九年度　中央防波堤ゴミ処分場
　　えこっくる江東

「青天の霹靂」

広報調査部長　片柳　範雄

この度、広報調査部長に就任しました片柳です。まさに青天の霹靂とはこの事で、執行部の総務から急遽広報調査部長をする事になりました。有能な秋山部長の後任という大役で恐縮しております。

さて、広報誌は、見る楽しさ、読む面白さ、知る嬉しさが重要な要素だと思います。

見る楽しさ＝なるべく写真を多用し、目で見て楽しさが伝わる誌面にしたいと思います。

読む面白さ＝青少年委員会の活動部の活躍と委員の横顔を少しでも伝えたいと考えています。

知る嬉しさ＝特集記事や調査のアンケートなど知識として委員の皆様に貢献出来る紙面を、提供したいと思っております。

是非、皆様のご投稿及び取材協力の程よろしくお願い致します。

各地区紹介

「地域社会との連携」

深川南部地区長　岩佐　郁子

青少年委員となり、あっという間に過ぎた一期二年、まだまだ未熟ながら今年度、地区長をさせていただくことになりました。

我が地区は深川南地区と臨海地区からなり、とりわけ臨海地区は急速な発展により、高層マンションが増え、それに伴い児童数も増えてきています。

大型商業施設などが多くあり、地域環境の変化も大きく、様々な問題も増えてくるでしょう。

そこで地域性や環境の違いはありますが、各委員との意見交換のみならず、地域・学校・PTAとの横のつながりをもっと充実させ、交流し、連携を強め活動していきたいと思います。

地域の中学校ともこれまで以上に関係を強化し、未来をになう子どもたちのより良い地域となるよう、委員一丸となって活動して行きます。

「個性ある仲間たち！」

深川北部地区長　釼先　美彦

新年度より元加賀小選出の石田前委員から今野委員が加わり新しい仲間が増えました。地域での経験豊富な石田前委員にも良きアドバイザーとして今後も参考意見を求めたいと考えています。紅一点の今野委員にはPTA現役のお母さんとして直接的な気持ちを伝えていただき、個々の地域活動に生かしていきたいと思います。

当地区ではJL地域講習会以外に話し合い主催する活動は「三者懇談会」だけですが、役員以外に地区対委員長や植物館館長、現役保護者などの個性ある仲間が集っています。立場によって委員会に係わるスタンスに違いはありますが、地域育成者として熱き気持ちを抱いて児童に接する努力は惜しみません。選出校での貴重な体験やWES活動等を通し情報交換する機会を増やすことで、委員会の専門部運営にフィードバックできると思っています。仲間たちの活躍に期待してください。

「新年度の抱負」

亀戸地区長　岡田　洋司

青少年委員の二期目で地区長の仕事と責任を仰せつかり緊張感でいっぱいですが精一杯頑張ります。

JR亀戸駅が地区内に有り江東区内外の人達が行き交う要所であり、子供達を取り囲む環境は厳しいと感じますが、地域社会が子供達の安全を考えて行動出来る様に青少年活動が少しでも手助け出来る様に行動したいと思います。

民家が多く在る地域と近年は工場が立ち退き跡地に近代的なマンションが多く建設され、新しく地域の仲間に成った子供達の為にも地域環境を構築して行き、地域社会と子供達に貢献できるよう努力して行きます。

思いは膨らみますが、本当に少しでもお役に立てるように青少年委員として活動して行きます。

「新年度の抱負」

大島地区長　米村　謙一

青少年委員として何をするべきかわからないまま二期めで地区長になりました。

PTAの時から携わってきた子ども会活動や地区対での経験を活かして、二年間頑張っていきたいと思います。

大島地区は今年も「安心安全・育成・絆」をキーワードとして、やさしさや思いやりの気持ちを持ちコミュニケーションをとりながら、地域のネットワークを活かしジュニアリーダーの育成や、美化浄化のクリーン作戦、また非防協や育成研等を通して小中の連携を密にして活動していきたいと思います。

今年度末には大島南央小の新校舎の落成や大島中の耐震工事等子ども達の教育環境の変動により、生活環境や学校選択制で生じた通学路の課題があります。安心安全なまちづくり、心身ともに健全な学校生活が送れるよう学校や地域と共に取り組んで行きたいと思います。

又、二年間楽しく活動して行きたいと思いますので宜しくお願い致します。

「新年度の抱負」

砂町地区長　柴田　志津子

今期地区長を務めさせていただきます。抱負なんて語る立場ではないのですが、がんばりますではなく、無理しないでやれることを目標にしていきたいと思います。

学校のほうにもなかなか伺えないので、地域行事等に参加して子どもたちの顔を見て、現状を把握していけるように心がけたいと思っています。

地区委員同士交流を持ち、お互いに情報交換を行い協力し「輪＝和」を大切にして活動を進めて行きますので二年間よろしくお願いいたします。

今後につながる講演と意見交換会
充実した 新任委員研修会

6月19日、青少年センターにおいて、第三亀戸中学校藤本渡校長、江東区亀戸図書館杉本千代館長（前青少年センター所長）をお迎えし、新任委員研修会が行われました。

まず、「中学校と青少年委員の関わり方」―中学校長としての学校経営をふまえて―というテーマで、資料を参考にしながら、話を伺いました。

「小学校との繋がりがあっても、中学校とは来賓として関わるだけがほとんどで、もっと中学校のドアをたたいて欲しい」と二期四年にわたる青少年委員としての経験を活かすアドバイスを頂きました。

続いて、杉本館長は、『青少年クイズ』と題し、江東区に関する問題を出題し、解答結果を照らしながら、各委員の地域のみならず、江東区全体を見て取れる資料を見つつ、今後の活動につながる話をしてくださいました。

その後、講師・参加者で質疑応答が活発に行われ、今後の活動に活かされるであろう、充実した研修会でした。

藤本 渡 校長

杉本 千代 館長

新任委員のコメント

地域と学校とどう関わっていくかなど課題を少しずつ考えていきたい。　**黒澤委員**

子どもたちにとっての良い未来とは何か？　良い環境作りのために陰にこもらず、会話を大事にしていくなどから始めている。　**川村委員**

中学校の場合、来賓という概念が拭いきれていないと思う。今後はどうやって切り開いていくか、前進していくよう努力したい。　**神尾委員**

気持ちも新たに!! 青少年委員委嘱式

平成20年4月10日、江東区教育センターにおいて、平成二十・二十一年度青少年委員委嘱式が行われました。14名のメンバーが交代し、44名の青少年委員が気持ちも新たに活動を開始いたしました。

青少年センター職員紹介

羽生 進一
何事にも一所懸命に頑張ります。よろしくお願いします。

遠藤 保子
今年でついに担当四年目となりました。名字も変わって心機一転？　元気に頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

高畑 要
青少年センターに異動してきて一年目です。まだ、わからないことが多いですが、委員の皆様とともに頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

山内 弘一
青少年委員担当二年目となりました。いままで以上にがんばりたいと思います。昨年同様よろしくお願いいたします。

編集後記

新任研修で皆さんのお話を、速記者のようにペンを走らせ書き留めました。一言一言に感謝いたします。（R・K）

フレッシュなメンバー八名いっしょに、各部・各地域で活躍する青少年委員の活動を多く知っていただけるよう、努力していきます。（I・I）